

中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する 演奏技術向上の為の取り組み（3） ～「幼児音楽」での授業到達度をふまえて～

A Trial to Improve the Playing Method for the Inexperienced Students of
Keyboard Instruments in Childcare Department of Chugoku Junior College (3)
— On a Basis of Each Student's Attainment Level in Child Music —

(2017年3月31日受理)

松井 みさ 土谷由美子 大山佐知子
Misa Matsui Yumiko Tsuchiya Sachiko Oyama

Key words : ピアノ演奏技術, 幼児音楽, 楽典

要 旨

中国短期大学保育学科で、2年間の授業を通して童謡の弾き歌いがどのくらいできるようになったか、代表的な童謡65曲についてのアンケートを行った。その結果、1年前期の授業において最低到達目標に達しなくて、夏休みの補習に参加した学生は、2年間で弾けるようになった童謡の曲数が、補習に参加しなくてもよかった学生に比べ10曲以上少ないことがわかった。さらに、補習に参加した学生のうち、最終的にバイエルピアノ教則本を終了できなかった学生は2年間で弾けるようになった童謡の曲数がさらに少なく、補習に参加しなくてもよかった学生より15曲程度少なくなっていた。また、これらの学生の1年前期の幼児音楽での授業での楽典の前期試験での点数を調べると、補習に参加しなくてもよかった学生より24点近く低かった。これらのことから、鍵盤楽器未習熟の学生については、ピアノの基本的な演奏技術はもちろんだが、楽典などの理論についても早い段階から習得させて、読譜力を身につけた上で、童謡の弾き歌いについても練習を積み重ねることの必要性を感じた。そして、3年間にわたる今回の調査結果は、平成29年度からの授業展開を見直すことに繋がった。

はじめに

筆者らは昨年、一昨年に著した「中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上のための取り組み（1）（2）」で鍵盤楽器未習熟者学生を対象に行った補習とその結果について述べた。それによると、鍵盤楽器未習熟者でも、夏休みに継続してピアノの練習を行い、バイエルピアノ教則本を終了させた学生は、後期の授業においてもピアノに対する意欲が継続し、バイエルピアノ教則本を終了させなかった学生に比べ後期試験において点数の伸びが大きい傾向があることが分かった。

しかし、学生が到達する本来の目標は、ピアノ教則本

が弾けるようになることではなく、保育所や幼稚園などの現場で、童謡の弾き歌いができ、子どもたちに音楽の楽しさや歌うことの楽しさを、教えることができることである。そこで今年度は、卒業を迎えた学生が2年間でどのくらい童謡の弾き歌いができるようになったかをアンケート調査した。本稿ではアンケート調査の結果と、学生の1年前期における幼児音楽、音楽基礎演習Aでの授業到達度などをもとに、鍵盤楽器未習熟の学生に対して効果的な授業展開の方法について研究した。

これまでの研究と結果

中国短期大学保育学科（以下本学と記す）1年生で前

期の授業終了時に、音楽基礎演習Aの授業において最低到達目標であるバイエルピアノ教則本（以下バイエルと記す）終了に達しなかった学生を対象に、夏休みにピアノの補習を行った。対象学生には個人カルテを作り、夏休み中常勤の音楽教員3名の誰のところに行っても進度がわかるようにして、学生自身のペースで練習できるようにした。その結果、鍵盤楽器未習熟の学生のうち多くが夏休み中に継続してピアノの学習を行う習慣ができ、学生の意欲向上につながった。この意欲は1年後期の授業である音楽基礎演習Bにも継続され、後期試験においてそれまでより難易度の高い曲に挑戦しようとする動きが見られた。さらに、ピアノ補習対象者の、バイエル終了時期による後期試験の点数を調査すると、バイエル終了の時期が早いほど、後期試験での点数の伸びが大きい傾向があることがわかった。これらのことから、鍵盤楽

器未習熟の学生は、早い段階でバイエルを終了させることが、それ以降のピアノに対する意欲向上や技術向上に繋がると考えられた。

アンケートについて

本年度、本学2年生を対象に後期授業終了時にアンケートを行った。アンケートでは、保育所・幼稚園などにおいてよく歌われると思われる童謡65曲について、弾き歌いができるかどうかを調べた。65曲については図1の通りである。これらの曲については、本学入学時に、最低でもこれらの曲は弾き歌いができるようになってほしいと、曲名を一覧表にして学生に配布し、幼児音楽や音楽基礎演習A・B、音楽実践演習A・Bなどの授業において歌唱や弾き歌いの練習を勧めていた曲である。

アイアイ アイスクリームの歌 あくしゅでこんにちは あめふりくまのこ
あわてんぼうのサンタクロース 一年生になったら いちょうのはっぱ 犬のおまわりさん うみ
うれしいひなまつり おうま 大きなくりの木の下で 大きなたいこ 大きな古時計 おかあさん
おかえりのうた お正月 おつかいありさん おばけなんてないさ おはながわらった おへそ
おべんとうのうた 思い出のアルバム かえるのがっしょう かごめかごめ かたつむり
かわいいかくれんぼう きくのはな きらきらぼし げんこつやまのたぬきさん こいのぼり
こおろぎ こたりのうた さんぽ しゃぼんだま ジングルベル ぞうさん たきび たこの歌
たなばたさま ちゅーりっぷ 手のひらを太陽に 手をたたきましょう てをつなごう とけいのうた
トマト どんぐりころころ 飛んでったバナナ とんとんともだち とんぼのめがね
にんげんていいな バスごっこ 春よこい ふしぎなポケット ぶんぶんぶん まつぼっくり
豆まき むすんでひらいて めだかがっこう もみじ 森のくまさん やきいもグーチーパー
やぎさんゆうびん ゆうやけこやけ ゆき

図1 2年間で弾き歌いできるようにしたい曲目一覧

これらの童謡については、この65曲が弾けるようになればそれで良いと思っているわけではない。あくまで最低の段階でもこのくらいは、と考えて提示した曲である。しかし、2年間の授業内では、これらの曲を全て網羅することは困難である。歌唱に関しては、幼児音楽の授業内でできるだけ練習はしているが、弾き歌いとなると、個人の演奏技術の差もあり、授業内ではなかなか全ての曲を網羅するところまではできなかった。

今回のアンケートでは、上記65曲について、今までの

学生の練習実態と、現場に出た時の練習時間を考えて、「2～3日練習すれば弾ける」「1週間程度練習すれば弾ける」「1週間程度の練習では弾けない」の3つの項目から選択をもらった。なお、ここで言う「弾ける」とは「弾き歌いができる」つまり「前奏をつけ、歌いながら簡単でもよいから伴奏をつけ、両手で演奏を行うことができる」という意味である。

アンケート結果と考察

本学2年生132名中120名から回答を得た。2年間で弾けるようになってほしい65曲中、何曲くらい弾けるようになったと考えているのか、「2～3日練習すれば弾ける」と「1週間程度練習すれば弾ける」の2項目を「弾ける」、「1週間程度の練習では弾けない」を「弾けない」と考えてまとめると、表1のようになる。

弾ける	50.1曲
弾けない	14.7曲
その他	0.2曲

表1 65曲の内訳の平均

表1から、学生は1週間程度練習期間があれば、与えられた65曲中、平均50曲程度は弾けると思っていることになる。では、鍵盤楽器未習熟の学生とそうでない学生の間には、2年間で弾けるようになった童謡の曲数に差が出るのだろうか。この表を1年の夏休みにバイエルの補習に参加した学生、つまり前期最低到達目標に達しなかった学生と補習に参加する必要のない学生とに分けて調べてみる。その結果が表2である。

	補習の必要がない学生	補習に参加した学生
弾ける	55.8曲	40.2曲
弾けない	8.9曲	24.8曲
その他	0.2曲	0.0曲

表2 補習の有無別で分けた弾ける曲数の平均

さらに、補習に参加した学生を、補習期間である夏休みにバイエルを終了させた学生と、夏休み中には終わらせることができなくて、後期授業期間までかかった、もしくは結局終わらせることができなかった学生に分けてさらに詳しく調べた。その結果が表3である。

	夏休みに終了した学生	夏休みに終了しなかった学生
弾ける	46.8曲	37.4曲
弾けない	18.2曲	27.5曲
その他	0.0曲	0.1曲

表3 補習の終了時期別で分けた弾ける曲数の平均

表2から、1年夏休みに補習に参加した学生は平均約40曲弾けると思っている。一方補習に参加する必要のなかった学生、つまり前期最低到達目標に達している学生は平均約56曲弾けると思っている。1年前期の到達度の差だけで、2年間で弾けるようになった童謡の数が16曲という差になって出てきている。さらに表3から夏休み中に補習を終わらせた学生は約47曲弾けると思っているのに対して、補習が終わらなかった学生は約37曲しか弾けると思っていない。補習に参加する必要のなかった学生と比べると約19曲の差になっている。練習する時間が比較的多く取れる学生時代でこの差ができていたから、就職後、練習時間をなかなか確保できない状況ではこの差は広がりこそすれ、縮まることは難しいのではないと思われる。

しかし、実際の童謡は必ずしも演奏に高い技術を要する曲ばかりではない。原曲は調号が多く、なおかつ難しい伴奏を伴っている曲もあるが、調号を変えたり、平易な伴奏に編曲されたりしている曲集も多く出版されている。さらに書店や楽器店などの楽譜売り場には、音符にカナがふってあり、楽譜が読めなくても、バイエル終了程度の技術があれば演奏できると謳っている童謡曲集も多く出版されている。そして実際学生たちはそのような曲集から楽譜を選ぶとする傾向がある。それにもかかわらず、弾けると思っている曲数に19曲もの隔たりがあることにに関して、もう少し詳しく調べてみた。

まず、65曲それぞれについて、どのくらいの学生が弾けると考えているのかをまとめた。まとめた結果が表4である。

曲名	2～3日の練習で弾ける		1週間程度の練習で弾ける		1週間程度の練習では弾けない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
アイアイ	21	17.5%	61	50.8%	38	31.7%
アイスクリームの歌	16	13.3%	49	40.8%	54	45.0%
あくしゅでこんにち	48	40.0%	49	40.8%	23	19.2%
あめふりくまのこ	52	43.3%	50	41.7%	18	15.0%
あわてん坊のサンタクロース	28	23.3%	55	45.8%	37	30.8%
一年生になったら	25	20.8%	59	49.2%	36	30.0%
いちようのはっぱ	20	16.7%	62	51.7%	38	31.7%
犬のおまわりさん	54	45.0%	42	35.0%	23	19.2%
うみ	59	49.2%	53	44.2%	8	6.7%
うれしいひな祭り	28	23.3%	59	49.2%	32	26.7%
おうま	35	29.2%	58	48.3%	27	22.5%
大きな栗の木の下で	81	67.5%	27	22.5%	11	9.2%
大きな太鼓	15	12.5%	48	40.0%	56	46.7%
大きな古時計	31	25.8%	51	42.5%	38	31.7%
おかあさん	33	27.5%	56	46.7%	31	25.8%
おかえりのうた	103	85.8%	14	11.7%	3	2.5%
お正月	38	31.7%	51	42.5%	31	25.8%
おつかいありさん	34	28.3%	60	50.0%	26	21.7%
おぼけなんてないさ	27	22.5%	50	41.7%	43	35.8%
おはながわらった	30	25.0%	59	49.2%	30	25.0%
おへそ	20	16.7%	61	50.8%	38	31.7%
おべんとうのうた	44	36.7%	42	35.0%	33	27.5%
思い出のアルバム	27	22.5%	51	42.5%	42	35.0%
かえるのうた	99	82.5%	17	14.2%	4	3.3%
かごめかごめ	22	18.3%	66	55.0%	32	26.7%
かたつむり	77	64.2%	32	26.7%	11	9.2%
かわいいかくれんぼう	25	20.8%	60	50.0%	35	29.2%
きくのはな	20	16.7%	55	45.8%	44	36.7%
きらきらぼし	82	68.3%	29	24.2%	9	7.5%
けんこつやまのたぬきさん	34	28.3%	63	52.5%	23	19.2%
こいのぼり	56	46.7%	51	42.5%	13	10.8%
こおろぎ	28	23.3%	58	48.3%	33	27.5%
こたりのうた	27	22.5%	65	54.2%	28	23.3%

表4 曲別に学生がどのくらいの練習で弾けると考えているかの割合

前と同様、「2～3日練習すれば弾ける」と「1週間程度練習すれば弾ける」の2項目を「弾ける」、「1週間程度の練習では弾けない」を「弾けない」と考えてまとめると、表4から、多くの学生が「弾ける」と考えている曲は

1. おかえりのうた 97.5%
2. かえるのうた 96.7%
3. とんぼのめがね 96.7%

以下、ちゅーりっぷ、どんぐりころころ、森のくまさんと続く。

一方、「弾けない」と答えている曲は

1. 大きな太鼓 46.7%
2. アイスクリームの歌 45.0%
3. てをつなごう 44.2%

以下、たこの歌、きくのはなと続く。これらの曲を見ると、「弾ける」と考えている曲は比較的短く、使用されている和音も基本3和音で構成されている。さらに、「おかえりのうた」は季節を問わず園生活の中で使える曲なので、多くの学生が、早い段階から練習をしていたと思われる。

一方、弾けないと答えている曲を見ると、2番の「アイスクリームの歌」は曲が長いというえに、使用されている

曲名	2～3日の練習で弾ける		1週間程度の練習で弾ける		1週間程度の練習では弾けない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
さんぽ	34	28.3%	48	40.0%	38	31.7%
しゃぼんだま	55	45.8%	49	40.8%	15	12.5%
ジングルベル	30	25.0%	56	46.7%	34	28.3%
ぞうさん	62	51.7%	47	39.2%	11	9.2%
たきび	30	25.0%	60	50.0%	29	24.2%
たこの歌	6	5.0%	63	52.5%	51	42.5%
たなばたさま	49	40.8%	50	41.7%	20	16.7%
ちゅーりっぷ	89	74.2%	26	21.7%	5	4.2%
手のひらを太陽に	29	24.2%	48	40.0%	43	35.8%
手をたたきましょう	44	36.7%	50	41.7%	26	21.7%
てをつなごう	9	7.5%	58	48.3%	53	44.2%
てけいのうた	29	24.2%	57	47.5%	34	28.3%
トマト	41	34.2%	58	48.3%	21	17.5%
どんぐりころころ	84	70.0%	30	25.0%	6	5.0%
飛んでったバナナ	23	19.2%	55	45.8%	42	35.0%
とんとんともだち	18	15.0%	62	51.7%	40	33.3%
とんぼのめがね	77	64.2%	39	32.5%	4	3.3%
にんげんていいな	25	20.8%	51	42.5%	43	35.8%
バスごっこ	60	50.0%	44	36.7%	16	13.3%
春よこい	17	14.2%	63	52.5%	39	32.5%
ふしぎなポケット	85	70.8%	25	20.8%	10	8.3%
ぶんぶんぶん	66	55.0%	40	33.3%	13	10.8%
松ぼっくり	61	50.8%	40	33.3%	18	15.0%
豆まき	53	44.2%	44	36.7%	22	18.3%
むすんでひらいて	52	43.3%	45	37.5%	23	19.2%
めだかのがっこう	47	39.2%	55	45.8%	18	15.0%
もみじ	24	20.0%	65	54.2%	30	25.0%
森のくまさん	88	73.3%	25	20.8%	7	5.8%
やきいもグーティーパー	54	45.0%	47	39.2%	19	15.8%
やぎさんゆうびん	34	28.3%	60	50.0%	26	21.7%
ゆうやけこやけ	28	23.3%	64	53.3%	28	23.3%
雪	26	21.7%	58	48.3%	36	30.0%

和音も種類が多く、さらに途中転調を含んでいるので演奏が難しいと考えられたと思われる。しかし、1番の「大きな太鼓」と3番の「てをつなごう」は曲も長くないいうえに基本3和音での伴奏が可能である。にもかかわらず、「弾けない」と答えた学生が多い理由を考えると、曲に対する理解が少なかったのではと思われる。つまり、曲を完全に覚えていなかったことである。1年前期の幼児音楽の授業では、できるだけ多くの曲を取り上げて、いつでも歌えるようにしているが、ここに挙げた65曲すべてを授業時間内に上げられてはいない。簡単な曲でも、学生にとって馴染みのない曲は弾けるかどうか分からない、という意味で「弾けない」という選択になったと思われる。

ではこれら65曲を、夏休みの補習に参加した学生と参加する必要のなかった学生、さらに補習に参加した学生を、バイエルを補習期間である夏休み中に終了した学生と夏休み中には終了できなかった学生の計3つのグループに分けて、それぞれ「弾ける」と答えた学生の割合を調べた。その結果が表5である。

	補習の必要がない学生（76人）		補習に参加した学生（44人）	
	人数	割合	人数	割合
アイアイ	20	26.3%	1	2.3%
アイスクリームの歌	16	21.1%	0	0.0%
あくしゅでこんにち	39	51.3%	9	20.5%
あめふりくまのこ	42	55.3%	10	22.7%
あわてん坊のサンタクロース	28	36.8%	0	0.0%
一年生になったら	22	28.9%	3	6.8%
いちようのはっぱ	18	23.7%	2	4.5%
犬のおまわりさん	43	56.6%	11	25.0%
うみ	47	61.8%	12	27.3%
うれしいひな祭り	24	31.6%	4	9.1%
おうま	32	42.1%	3	6.8%
大きな栗の木の下で	58	76.3%	23	52.3%
大きな太鼓	15	19.7%	0	0.0%
大きな古時計	25	32.9%	6	13.6%
おかあさん	28	36.8%	5	11.4%
おかえりのうた	70	92.1%	33	75.0%
お正月	30	39.5%	8	18.2%
おつかいありさん	32	42.1%	2	4.5%
おばけなんてないさ	26	34.2%	1	2.3%
おはながわらった	26	34.2%	4	9.1%
おへそ	19	25.0%	1	2.3%
おべんとうのうた	37	48.7%	7	15.9%
思い出のアルバム	23	30.3%	4	9.1%
かえるのうた	69	90.8%	30	68.2%
かごめかごめ	21	27.6%	1	2.3%
かたつむり	61	80.3%	16	36.4%
かわいいかくれんぼう	25	32.9%	0	0.0%
きくのはな	18	23.7%	2	4.5%
きらきらぼし	63	82.9%	19	43.2%
げんこつやまのたぬきさん	32	42.1%	2	4.5%
こいのぼり	42	55.3%	14	31.8%
こおろぎ	23	30.3%	5	11.4%
ことりのうた	24	31.6%	3	6.8%
さんぽ	29	38.2%	5	11.4%
しゃぼんだま	48	63.2%	7	15.9%
ジングルベル	27	35.5%	3	6.8%
ぞうさん	53	69.7%	9	20.5%
たきび	28	36.8%	2	4.5%
たこの歌	6	7.9%	0	0.0%
たなばたさま	43	56.6%	6	13.6%
ちゅーりっぷ	67	88.2%	22	50.0%
手のひらを太陽に	26	34.2%	3	6.8%
手をたたきましょう	37	48.7%	7	15.9%
てをつなごう	8	10.5%	1	2.3%
とけいのうた	26	34.2%	3	6.8%
トマト	34	44.7%	7	15.9%
どんぐりころころ	61	80.3%	23	52.3%
飛んでったバナナ	21	27.6%	2	4.5%
とんとんともだち	17	22.4%	1	2.3%
とんぼのめがね	51	67.1%	26	59.1%
にんげんていいな	24	31.6%	1	2.3%
バスごっこ	46	60.5%	14	31.8%
春よこい	16	21.1%	1	2.3%
ふしぎなポケット	56	73.7%	29	65.9%
ぶんぶんぶん	49	64.5%	17	38.6%
松ぼっくり	42	55.3%	19	43.2%
豆まき	33	43.4%	20	45.5%
むすんでひらいて	43	56.6%	9	20.5%
めだかがっこう	40	52.6%	7	15.9%
もみじ	21	27.6%	3	6.8%
森のくまさん	59	77.6%	29	65.9%
やきいもグーチャーパー	45	59.2%	9	20.5%
やぎさんゆうびん	29	38.2%	5	11.4%
ゆうやけこやけ	25	32.9%	3	6.8%
雪	22	28.9%	4	9.1%

夏休みに終了（13人）		終了しなかった（31人）	
人数	割合	人数	割合
1	7.7%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%
5	38.5%	4	12.9%
5	38.5%	5	16.1%
0	0.0%	0	0.0%
2	15.4%	1	3.2%
0	0.0%	2	6.5%
6	46.2%	5	16.1%
6	46.2%	6	19.4%
1	7.7%	3	9.7%
1	7.7%	2	6.5%
8	61.5%	15	48.4%
0	0.0%	0	0.0%
4	30.8%	2	6.5%
4	30.8%	1	3.2%
13	100.0%	20	64.5%
2	15.4%	6	19.4%
0	0.0%	2	6.5%
1	7.7%	0	0.0%
2	15.4%	2	6.5%
0	0.0%	1	3.2%
4	30.8%	3	9.7%
2	15.4%	2	6.5%
13	100.0%	17	54.8%
1	7.7%	0	0.0%
6	46.2%	10	32.3%
0	0.0%	0	0.0%
0	0.0%	2	6.5%
10	76.9%	9	29.0%
1	7.7%	1	3.2%
7	53.8%	7	22.6%
3	23.1%	2	6.5%
2	15.4%	1	3.2%
3	23.1%	2	6.5%
2	15.4%	5	16.1%
2	15.4%	1	3.2%
1	7.7%	8	25.8%
2	15.4%	0	0.0%
0	0.0%	0	0.0%
5	38.5%	1	3.2%
8	61.5%	14	45.2%
2	15.4%	1	3.2%
2	15.4%	5	16.1%
0	0.0%	1	3.2%
0	0.0%	3	9.7%
3	23.1%	4	12.9%
10	76.9%	13	41.9%
2	15.4%	0	0.0%
1	7.7%	0	0.0%
10	76.9%	16	51.6%
0	0.0%	1	3.2%
6	46.2%	8	25.8%
0	0.0%	1	3.2%
13	100.0%	16	51.6%
9	69.2%	8	25.8%
8	61.5%	11	35.5%
10	76.9%	10	32.3%
6	46.2%	3	9.7%
4	30.8%	3	9.7%
1	7.7%	2	6.5%
11	84.6%	18	58.1%
5	38.5%	4	12.9%
4	30.8%	1	3.2%
2	15.4%	1	3.2%
2	15.4%	2	6.5%

表5 補習に参加した学生と必要がない学生の曲別に弾けると考えている割合

表5から、ほとんどの曲について補習に参加する必要のなかった学生のほうが、補習に参加した学生より弾けると答えた割合が高くなっている。さらに、補習に参加した学生でも、夏休み中に補習を終了した学生のほうが、終了できなかった学生より弾けると答えた割合が多く、曲で高くなっている。しかし、前にも述べたように、演奏しやすく編曲された楽譜は多く出版されている。そして、鍵盤楽器未習熟の学生は、そのような楽譜で演奏しようとする傾向がみられる。今回のアンケートでは、伴奏については両手で演奏すること以外は制約を設けていないので、学生がどんな楽譜を使うかについては言及していない。にもかかわらず、2年間で弾ける曲数にこれだけの差が出てきているのは単に簡単な楽譜で演奏すれば良い、という問題では無い気がする。そこには、学生のいろいろな曲を弾こう、という意欲のようなものが関係しているのではないだろうか。

興味深いのは、夏休み中に補習を終えた学生のデータである。おかえりのうた、かえるのうた、ふしぎなポケットの3曲は2～3日練習すれば弾けると答えた学生の割合が100%になっている。もちろん3曲とも難易度は低いので、2～3日の練習で弾けるようになる曲ではあるが、補習に参加していない学生の割合を見ても、100%にはなっていないのに、明らかに演奏技術が低いと思われる学生の方が、演奏に自信を持っていることになる。この傾向を、昨年の「中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上のための取り組み(2)」の内容と照らし合わせて考えて見た。補習に参加しても、早い段階で終わらせた学生は、後期試験における点数の伸びが高い傾向がある。つまり、後期試験に向かって技術的にも精神的にも伸びがみられ、それが点数に反映されていた。そう考えると、この100%という数字は、練習すれば弾ける、という自信の表れだと思えることができる。一方、補習に参加する必要のなかった学生が100%という数字を出さなかったことについては、ある程度の演奏技術を持っているから、かえってきちんと弾かなくてはいけないとか、難しい伴奏で弾きたいなど、いろいろなことを考えてしまって自信を持てなくなってしまうのではないかと考えることができる。

ここで、鍵盤楽器の習熟度の差は、単に技術的な問題

のみだろうかという疑問が湧いた。今まで筆者らは、音楽基礎演習の授業での前期最低到達目標をクリアすることを考えて、バイエルを早い段階で終わらせれば、その後の演奏技術が向上する、演奏技術が向上すれば多くの曲が弾けるようになる、と考える夏休みの補習を行ってきた。実際、鍵盤楽器未習熟の学生でも、早い段階でバイエルを終わらせた学生の方が、その後の意欲や演奏技術が向上する傾向にあった。しかし、鍵盤楽器習熟度の差は単にピアノに向かい毎日練習すれば良いだけの問題ではないと考える。そこには楽譜を読む読譜力が必要だろう。弾き歌いの場合は歌唱力も必要になる。つまり、弾き歌いをしようとするれば、歌唱はもちろん楽典などの理論を学ぶことも大切な要素である。そこで、幼児音楽の授業で行なっている楽典や歌唱の理解度と学生のピアノ演奏技術がどう関連しているのかを調べた。

1年前期に行なっている「幼児音楽」の授業で、楽典と歌唱の前期試験結果の平均を表したのが表6である。

楽典	82.1点
歌唱	81.5点

表6 楽典と歌唱の試験の平均点

楽典の試験は、音符と休符・拍子・楽語・小節など、基本的な内容を問うもので、歌唱の試験は、授業で習った曲から試験当日1曲指定をして無伴奏で1番を歌うものである。どちらも、平均80点以上を取っている。ではこの結果を、鍵盤楽器未習熟の学生、つまりバイエル未終了で補習に参加した学生と補習に参加する必要がない学生とに分けて調べてみる。

結果は表7のようになる。

	補習に参加	補習の必要なし
楽典	71.7点	88.1点
歌唱	77.4点	83.9点

表7 補習に参加した学生と必要がない学生の楽典、歌唱の平均点

補習に参加した学生と、参加の必要がなかった学生との間には、楽典で16.4点、歌唱で6.5点の差が出ている。このことから、楽典の理解度が、ピアノの演奏技術にも影響を及ぼしている可能性があることがわかる。では、

補習に参加した学生をさらに詳しく調べることにする。

その結果が表8である

		楽典			歌唱		
バイエルを終了した	夏休み中	76.9点	75.1点	71.7点	78.5点	78.6点	77.4点
	後期授業期間	73.2点			78.8点		
バイエルを終了していない		63.8点			74.9点		

表8 補習対象学生の楽典・歌唱の平均点

表8より、補習に参加した学生でも、バイエルを終了した時期によって、楽典の試験における点数が大きく異なっていることが分かる。遅れながらもバイエルを終了させた学生は、平均75点あるのに対し、結局バイエルを終了できなかった学生は、平均64点しかない。補習に参加する必要のなかった学生の88点と比べると、24点もの差が出ている。

一方、歌唱に関しては、遅れながらもバイエルを終了させた学生は、平均79点あるのに対し、結局バイエルを終了できなかった学生は、平均75点となっている。補習に参加する必要のなかった学生の84点と比べると、9点の差となり、楽典の24点ほど広くはない。この違いについて考えてみた。

歌唱に関しては、多くの童謡は、学生自身が幼児の頃歌っていた曲も多く、曲や歌詞を覚えていたことや、耳から曲を覚えることで、音楽の専門的な知識がなくてもある程度は正しく歌うことが可能なため、試験の点数が鍵盤楽器の習熟度にあまり左右されなかったものと思われる。それに対して、楽典は、楽譜の読み方から、音符の種類、拍子や反復記号、楽語など、理解できていなければ、鍵盤楽器を演奏することが困難になる要素を多く含んでいる。バイエル未終了の学生が楽典の試験の点数が極端に低いのは、楽典が理解できていなかったために、楽譜をうまく読むことができず、その結果、正しく演奏をすることが困難になってしまった可能性もある。幼児音楽の授業においても、単に楽典のテキストで理論として音符の長さや拍子について教えるだけではなく、実際にバイエル教則本などをモデルにして、読譜の方法や拍子、小節などについて具体的に理解できるように授業展開を考える必要性を感じた。

ま と め

2年間で学生が弾けるようになったと考える童謡の曲数は、ピアノの演奏技術の差によって違いがあった。しかし、鍵盤楽器未習熟の学生が、保育現場に出たとき、どれだけピアノの練習時間を確保できるかを考えたとき、やはり学生時代に少しでも多くの曲を弾けるようになっておく必要がある。そのためにもやはり早い段階でピアノの基本的な演奏技術を身につけなければならない。そして、単に技術の習得だけではなく、楽典などの理論についても早い段階から習得させて、読譜力などを身につけさせることが大切と考える。その上で、童謡の弾き歌いについても練習を積み重ね、1曲でも多く弾き歌いのレパートリーを増やすような授業展開を行う必要があると感じた。これらの考えと今までの研究結果をもとに授業の見直しを行い、平成29年度からは、1年前期の幼児音楽で、楽典・歌唱やソルフェージュを今までの内容に加えさらに詳しく説明するように、また音楽基礎演習Aの授業ではピアノの演奏技術と弾き歌いを並行して習得できるようにする予定である。さらに音楽基礎演習ではML教室やピアノ練習室の活用により、授業時間内のできるだけ多くの時間を、鍵盤楽器に触れられるようにする。この授業展開の結果が出るのは2年後であるが、鍵盤楽器未習熟の学生でも、現在よりは多くの童謡を演奏できるようになるはずである。学生の演奏技術向上のために、より工夫した授業展開を行うとともに、今後も研究を続けたい。

参 考 文 献

松井みさ 土谷由美子 大山佐知子 「中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術

向上のための取り組み（１）」中国学園紀要 第14号（2015） pp. 19-24

松井みさ 土谷由美子 大山佐知子 「中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上のための取り組み（2）」中国学園紀要 第15号（2016） pp. 11-16

松井みさ 「伴奏づけの指導方法に関する一考察（１）」中国学園紀要 第12号（2013） pp. 43-48